

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年7月30日(2020.7.30)

【公開番号】特開2020-62307(P2020-62307A)

【公開日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2020-016

【出願番号】特願2018-197178(P2018-197178)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月5日(2020.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御することを判定するための判定用乱数値を生成可能な判定用乱数値生成手段と、

前記有利状態に制御される確率が異なる複数段階の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

前記判定用乱数値生成手段にて生成された判定用乱数値と、前記設定手段にて設定されている設定値に対応する有利状態判定値とともにとづいて、前記有利状態に制御することを判定する有利状態判定手段と、

所定期間において前記設定値に関する示唆を行う設定示唆演出を実行可能な設定示唆演出実行手段と、を備え、

前記有利状態判定値の数は、設定値に応じて異なり、

前記有利状態判定値の数値範囲は、所定基準値から連続するとともに、設定値に応じて異なる数値範囲となるように設定されており、

前記複数段階の設定値として、第1設定値と、該第1設定値よりも不利な第2設定値と、を含み、

前記設定示唆演出の実行態様として、前記第1設定値に設定されている場合に選択される割合が高い第1態様と、前記第2設定値に設定されている場合に選択される割合が高い第2態様と、を含み、

前記設定示唆演出実行手段は、前記第2態様の設定示唆演出よりも前記第1態様の設定示唆演出を長い期間実行する、

ことを特徴する遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御することを判定するための判定用乱数値を生成可能な判定用乱数値
生成手段と、

前記有利状態に制御される確率が異なる複数段階の設定値のうちいずれかの設定値に設
定可能な設定手段と、

前記判定用乱数値生成手段にて生成された判定用乱数値と、前記設定手段にて設定され
ている設定値に対応する有利状態判定値とともにとづいて、前記有利状態に制御することを
判定する有利状態判定手段と、

所定期間において前記設定値に関する示唆を行う設定示唆演出を実行可能な設定示唆演
出実行手段と、を備え、

前記有利状態判定値の数は、設定値に応じて異なり、
前記有利状態判定値の数値範囲は、所定基準値から連続するとともに、設定値に応じて
異なる数値範囲となるように設定されており、

前記複数段階の設定値として、第1設定値と、該第1設定値よりも不利な第2設定値と
、を含み、

前記設定示唆演出の実行態様として、前記第1設定値に設定されている場合に選択され
る割合が高い第1態様と、前記第2設定値に設定されている場合に選択される割合が高い
第2態様と、を含み、

前記設定示唆演出実行手段は、前記第2態様の設定示唆演出よりも前記第1態様の設定
示唆演出を長い期間実行する、

ことを特徴とする。

(1) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であ
って、

前記有利状態に制御される確率が異なる複数段階の設定値（例えば、最も遊技者にと
って不利な設定値である1から最も遊技者にとって有利な設定値である6までの値など）の
うちいずれかの設定値に設定可能な設定手段（例えば、設定値変更処理を実行するCPU
103など）と、

所定期間において前記設定値に関する示唆を行う設定示唆演出を実行可能な設定示唆演
出実行手段（例えばステップ063AKS007の処理を実行する演出制御用CPU12
0など）と、を備え、

前記複数段階の設定値として、第1設定値と、該第1設定値よりも不利な第2設定値と
を少なくとも含み（例えば最も遊技者にとって不利な設定値である1から最も遊技者にと
って有利な設定値である6までの値など）、

前記設定示唆演出の実行態様には、前記第1設定値に設定されている場合に選択される
割合が高い第1態様と、前記第2設定値に設定されている場合に選択される割合が高い第
2態様と、が含まれ（例えば「態様1」は、設定されている設定値が高い程決定される割
合が高くなっている一方、「態様2」は、設定されている設定値が低い程決定される割合
が高くなっているなど）、

前記設定示唆演出実行手段は、前記第2態様の設定示唆演出よりも前記第1態様の設定
示唆演出を長い期間実行する（例えば図9-8に示すように、T2 > T5であるなど）、
ことを特徴とする。